経済学がもっと面白くなる〈情報＆メッセージ!〉

北海学園大学 経済学部報
【エコン】
2018.夏・秋号

econ.

No.38

特集座談会
いまどきの、学園生の“学びの現場”に迫る！

表紙写真
㈱良品計画による夕張市のまちづくり・ひとづくりを応援する事業「幸福の黄色い花咲く街－夕張－」植栽バスツアーに協力、参加した西村ゼミの皆さん（関連記事は４ページ）

news 1 1部・2部基礎ゼミで合同ゼミ実施
宇土至心先生（4ページ）

news 1 夕張植栽ツアーに参加
西村宣彦先生（4ページ）

news 1 財政学特別講演会
野口剛先生（4ページ）

連載企画 研究室の窓から●北原寛子先生
（5ページ）

news 2 ゼミ対抗ソフトボール大会
宇土至心先生（6ページ）

news 2 OBへ感謝状贈呈
古林英一先生（6ページ）

news 2 市民公開講座
「世界の言語と文化のモザイクを眺める」
辻弘範先生（6ページ）

interview OG訪問―働きウーマン㉑近江谷亜以莉さん
（7ページ）

連載 column From a Distance ⑩松本広幸先生
（8ページ）

news 3 就職情報
宮本章史先生（8ページ）

特集 いまどきの、学園生の“学びの現場”に迫る！

学生が、大学教育を受ける中でどのような成長や不足を感じ、成果を得たのかを測る評価テスト「GPS-Academic」。現３年生は１年生の終わりに実施しました。今回はその結果を見ながら、大学、教職員、授業や勉強に対してどんな意識を持っているのか、集まってもらった５名の３年生に聞きました。

出席者：写真前列左から
大坪駿祐くん（倶知安高校出身）逸見ゼミ
田之脇悠人くん（室蘭清水丘高校出身）逸見ゼミ
船曳百音さん（富良野高校出身）水野谷ゼミ
中島翔也くん（江別高校出身）宇土ゼミ
鶴巻太盛くん（白石高校出身）宇土ゼミ
同席 FD 担当教員：写真後列左から水野谷武志 教授、中囿桐代 教授、司会・逸見宜義 教授、宇土至心 准教授

※ GPS-Academic とは
教学改革・学生の成長支援のための学生の思考スキル測定テスト（答えのない学び、学科を超えた汎用力を測定）及び、大学の課題把握および仮説検証ができる学生調査用アセスメントテスト（動機づけ・学生調査）。
※ FD（ファカルティ・ディベロプメント）とは
教育開発運営委員会。教育内容や教育方法の改善に向けた取り組みを行う。

大学は“学ぶところ”ではない？

逸見　テスト結果を見ながら話しましょう。まず「Q4 大学の魅力」では、特に７「就職に有利」と８「知名度がある」が全国平均より高い。逆に「自分が学びたい学問分野が学べる」が全国より低い傾向にある。なぜだろう？

鶴巻　友達と話していて、学びたいことを見つけていない人が多いのかも、と思うことはあります。

中島　専門的なことを学ばなくても、知名度があるから卒業さえできればいい、という考えもあるかもしれません。

船曳　とりたい科目があっても、卒業に必要な単位をとるのに必修科目を優先して履修するからだと思います。

大坪　僕は、とりたい科目が少ないと思う。２年生が終わって、これから「ミクロ経済学」「マクロ経済学」をもっと突き詰めて勉強できると思っていたんですが、カリキュラムを見たら３年生では授業がなくて残念でした。

逸見　もっと学びたいと思ってもその次がないというのは、たしかにカリキュラム上の弱点かもしれない。でも、履修は卒業優先になってしまうし、どう折り合いをつけるのか難しいところだね。それにしても、授業以外での学習への取り組みで「Q12 自習時間（週あたり）」が低いのはなぜかな。

田之脇　読書など、どこまで勉強に含むのかわかりませんが、多分レポートと課題をやる時間だけだろうと思います。

船曳　テスト前に集中して勉強するので、普段勉強する時間は少なくなってしまうかもしれません。

逸見　約３割が「３～４時間未満」「２～３時間未満」で約３時間だから、１日 20 ～ 30 分レポートや課題をやるということか。テスト直前の勉強時間を入れたらもっと増えるんだろうけど。普段は何に時間を割いているの？

中島　自分はアルバイトです。自宅に帰ると 12 時半くらいになるのですぐ寝て、次の日また…という感じ。食事代や交通費は自分で払っているので、アルバイトは必要なんです。

逸見　授業を難しくすれば普段から勉強するようになるのでは、とも思いましたが、時間的な拘束が大きい学生が多いなら、授

業の強度を上げるよりLMS(学習管理システム)をもっと活用するほうがいいのかもしれませんね。

相談できる先生がいない？

逸見　「Q16 困っていること」では、2「やりたいことが見つからない」が多いけれど、3「希望する進路に進めるか不安」はむしろ低い。これはどう考えますか？

田之脇　調査したのが1年生の終わりというのもあると思います。僕もそうだったんですが、見つからないんじゃなくて、そもそも探していない人がこの時期は多いんじゃないでしょうか。

中島　今調査したら、1「困っていることはない」は、もう少し下がると思います。4「授業についていけない」は、1年生は楽勝だったのに、2年生になったら難易度が上がって単位がとれないという人もいたので上がるかもしれない。

逸見　一見楽観だけれど、不安が明らかになっていないだけなのかな。突き詰めていくと3が上がってきそう？

全員　そうだと思います。

逸見　学部としては、2、3、4はセットで対策を考えないといけないかもしれません。さて、「Q14 適応状況」では1「勉強／進路面で相談できる友人がいる」は全国より高い。でも、2「ちょっとしたことでも相談できる教員がいる」は全国を下回っている。これはなぜだろう？

鶴巻　少人数の基礎ゼミなどを除くと、大人数の授業では1対1での先生との会話がない。僕は大学に入って、高校の先生とのような会話が急になくなったのがショックでした。少人数学習の空間も必要と思います。

船曳　私も、今のゼミの先生は話しやすいけれど、大人数で受ける授業の先生とは話す機会がないです。

逸見　1年生の終わりの調査だから、基礎ゼミの先生には話しにくい、ということかな。

田之脇　基礎ゼミでプレゼン大会をやったときは、終わったあと先生と意見交換などをしていました。個人的な意見ですが、学生と先生の距離を縮める意味でも、プレゼン大会のほかに何かあってもいいのではないでしょうか。

逸見　距離を縮めるきっかけがいる、ということだね。田之脇君の言うようなイベントや、大講義でも質問しやすい状況を作るなど仕掛けが必要かもしれない。「学びへの取り組み」の詳細の4「授業の内容でわからないことは教員のところに質問や相談に行く」は、全国の約40%と比べると23.7%でやはり低いですね。

田之脇　1年生のときは、勉強のできる人に聞けばなんとかなることが多かった。先生のところへ行く前にできる人に聞く、というのが挟まった結果かなと思います。

大坪　僕は、高校までは友達に聞いていたので全然質問に行きませんでした。でも、大学では自分でなんとかしなきゃいけないと思い質問に行っています。

中島　先生が切ったレジュメを見ただけでわかったような気になって、わざわざ質問や相談に行く必要がないと思っている人も多いんじゃないでしょうか。

逸見　オフィスアワー(教員が学生からの疑問、質問、相談等を受けるために設定した時間帯)が使いにくいということはない？

中島　研究室に入るとき、警備の人に言いづらいです…。

逸見　たしかに面倒だね(笑)。ゼミ以外の先生からも研究以外の話が聞けて、世界が広がっておもしろいのにもったいない。でも、オフィスアワーは1部では週に1回、1時間半くらいしか設定されていないので、そこに授業が重なったら使えない。警備上のことは仕方ないけれど、時間が短いし枠が少ないよね。要改善かもしれません。

授業での成長を感じるときって？

逸見　ここからは、みなさんの授業環境や大学環境に関して。「Q 7 授業の役立ち度」で2「数量的・統計的スキル」が高いのは経済学部だから？

田之脇　1年生で多くの人が統計学やミクロ・マクロ、経済数学などの授業をとっていました。レポートも高校ではあまりやらないと思いますが、大学では先生によっては毎週書くこともある。能力が上がったというより「やった」という実感が強いのかなと思います。

中島　大学で初めてプレゼンやディスカッションを経験して、スキルが上がったと感じたのではないでしょうか。

逸見　6「プレゼンテーションスキル」や7「ディスカッションスキル」が高いのは、まさに基礎ゼミのプレゼン大会の効果かな。具体的なことをすると「やった」気持ちになって、自己評価が上がるのかもしれない。9「文章作成力」が高いのも、プレゼン大会ではかなり直されるし、ゼミの志望理由で文章の書き方もやるからでしょう。「やった」感が2年生以降のモチベーションにつながる可能性はあるようですね。

ところで、「Q 8 目標・カリキュラム・授業内容の理解」の1「所属する学部・学科の教育目標を知っている」が低い。知らなくても単位はとれますが、教育目標はとても大事です。カリキュラムはそれを達成するためのメニューなので、知らないとやりたいことが見つからない、学びたい学問分野がわからないという問題につながります。僕の基礎ゼミでは、経済学がどんな学問か知ってもらうために、何をきっかけに先生が経済学に関心を持ったかという話をしていますが、反応がイマイチなんだよね。みなさんはどういうことを話してほしいんだろう？

田之脇　僕は1年生のとき、「経済学っていったい何だろう」と疑問に思いました。経済学部に入学したのに、1年生では一見まったく関連のない授業もあって、経済学

Q14 適応状況

Q7 授業の役立ち度

Q8 目標・カリキュラム・授業内容の理解

とは何か理解できていない人も多いと思う。だから「経済学とはどんな学問か」を１年生で知りたかったです。

逸見　なるほど。学生が求めていることと教員の認識が少しズレている部分があるのかもしれませんね。

何を目標に経済を学ぶ？

逸見　最後に、みなさんは授業を受ける中で、何をもって成長していると感じますか？

大坪　ニュースを見ていても自分なりの視点で考えられて、人にも説明できるときです。

田之脇　経済について書かれた本に載っているグラフや表など、数字の変化から文面とは別の見方ができるようになったとき成長を感じます。

船曳　私は２年生のときに浅妻裕先生の「経済政策」の授業で、中古車市場について初めて知りました。新しい知識が自分の中で増えたし、国際経済のニュースも興味を持って見るようになったので、考え方や捉え方が成長したのかなと思います。

中島　就職したとき必要になるスキルを身につけたら成長できたと思うのかもしれませんが、今はまだ主体的に考えることがあまりないかもしれません。

鶴巻　僕は新聞やニュースを見て、今まで具体的なイメージもできなかったことがイメージできるようになった。実生活につなげて考えられることが成長を感じられるということだと思います。

逸見　何かを覚えるというより、現実とのリンクがあって初めて成長を感じるんですね。改めていろいろ考えさせられました。ありがとうございました。

［平成29年4月13日］1部基礎ゼミ・2部基礎ゼミ

１部・２部基礎ゼミナールで合同ゼミ実施

経済学部教育開発支援委員会では、基礎ゼミナール改革の一環として、新年度が始まって間もない4月～5月にかけて、基礎ゼミナールの合同ゼミを実施しました。経済学部に入学したばかりの新入生はこの時期、何をどう学んでいけばよいのかが分からない状態で、履修登録をしたり授業に出席したりしています。そこで、今回の合同ゼミでは「経済学と私」というタイトルで、経済学部の先生方にそれぞれの分野で研究を志すにいたった経緯や、研究を通じて知りえたことなどについて、先生自らの体験を交えてお話し頂きました。

昨年は試験的に２部で実施したこの企画を、今年は１部でも行いました。１部基礎ゼミはゼミ数の問題から複数の曜日に分かれていますが、月曜の基礎ゼミでは4月16日に実施し、早尻正宏先生（開発政策論）と宮本章史先生（社会政策）にお話し頂きました。また火曜の基礎ゼミでは5月15日に実施し、小坂直人先生（産業総論）、逸見宜義先生（ミクロ経済学基礎）、宮入隆先生（食料・農業経済論）にお話し頂きました。２部基礎ゼミでは全10ゼミ合同で4月19日に実施し、佐藤敦紘先生（ミクロ経済学）と平野研先生（発展途上国論）ほかにお話し頂きました。普段の授業では聞けないような話しを聴くことができ、新入生たちにとっても有意義な機会となったようです。［宇土］

左から、２部合同基礎ゼミ、１部合同基礎ゼミ

［平成30年6月12日・19日］財政学Ⅰ特別講演会

財政学で本学卒業生を迎えて特別講演会を開催

6月12日㈫に、財務省北海道財務局で活躍されている本学卒業生の手小洋伸氏と田村正和氏を講師にお迎えし、講演会を開催しました。まず手小氏からは、財務局の組織、業務、機能、また国の予算編成の仕組み、予算の無駄遣いのチェックの仕組み、そして財政の現状などを説明していただきました。次に田村氏は、黒板を用いたり受講生に発言を求めながら、地方財政の役割や国と地方の関係などを説明していただきました。約180名の受講生の受講後アンケートによりますと、財務局の業務がイメージできた、財政赤字の連鎖をどう止めたらよいのかを考えるきっかけとなった、などの感想や質問が寄せられました。このような貴重なお話をいただきました手小氏、田村氏に感謝申し上げます。

引き続き、6月19日㈫に、本学経済学部・経済学研究科を修了した三嶋秀鷹氏（税理士法人山田＆パートナーズ所属）に、税理士業務についてお話をしていただきました。大学で学ぶことは税の理論や政策が中心となりますが、税の実際（実務）にも関心を広げることが出来るようなお話で、業界への関心も高まったかと思います。貴重なお話をいただきました三嶋氏に感謝申し上げます。

［野口］

6月12日の講師・財務省北海道財務局の手小洋伸氏（写真上左）と田村正和氏（写真上中・下）、19日の講師・三嶋秀鷹氏（写真上右）

［平成30年5月12日］西村宣彦ゼミ

良品計画夕張植栽ツアーに参加（本紙表紙写真）

「無印良品」を展開する㈱良品計画が、全国唯一の財政再生団体として財政再建と地域再生に取り組む夕張市のまちづくり・ひとづくりを応援する事業として、5月12日㈯に開催した「『幸福の黄色い花咲く街―夕張―』植栽バスツアー」に、1部西村宣彦ゼミ生27名が参加・協力しました。

朝９時に大型バスで新札幌を出発し、人気の観光スポットである名作映画「幸福（しあわせ）の黄色いハンカチ」のロケセット広場で、市民・高校生ボランティアや一般参加者の方々とともに、同市のイメージカラーである黄色やオレンジの花を植栽しました。作業終了後はロケセット内を見学したり、ジンギスカンを味わいながら交流を深めたり、(一社)清水沢プロジェクトの佐藤真奈美代表のお話を伺ったり、4月末にリニューアル・オープンした石炭博物館を見学したりして、3月に映画祭ボランティアとして５日間滞在した同市の歴史や魅力に触れました。

また民間企業である㈱良品計画が、地域課題の解決に真摯に向き合う姿勢からも、学生達は様々な気づきや学びを得たようです。

［西村］

植栽を行う西村ゼミ生と鈴木直道夕張市長（写真右）の挨拶

研究室の窓から

目指せドン・キホーテ！ 活字の世界の果てしない旅

北原 寛子 経済学部准教授
きたはら ひろこ

［専門はドイツ小説理論］兵庫県神戸市出身。博士（文学）大阪市立大学大学院、小樽商科大学客員研究員を経て2017年4月より現職。

●近著に「想像力の「発見」―18世紀小説理論からみたヴィーラント『ドン・シルヴィオ』における「想像力」についての一考察―」（北海道大学ドイツ語学・文学研究会『独語独文学研究年報』2017）。またフリードリヒ・フォン・シラー作『ドン・カルロス　スペインの皇太子　演劇的詩』の日本語訳を『学園論集』にて連載中。

ボケ・ツッコミ式研究法

私はドイツ文学を専門にしています。ドイツ文学研究といえば、少し年配の方ならゲーテやトーマス・マンの名がさっと浮かび、随分と高尚なご研究で、となりますし、若い人にはドイツという国やドイツ語に関連していることは予想がつくものの、具体的な活動内容は不明のガクモン分野ということになるでしょう。そこで私なりに説明するならば、ドイツ文学研究とは、ドイツ語のテクストを読んで、「なんでやねん！」「どうしてそんな展開になんの？」と声をあげずにはいられない箇所に出くわすと、手がかりになりそうな資料をあちこちで探し、それらを参考に考察を重ねて自分で答えを導き出す活動です。そしてその問いと答えを文章にしてまとめると、論文になるわけです。標準的なドイツ文学の研究方法は、特定の作品を解釈することですが、1990年代に入る頃からは作品の背後にある文化的な現象も積極的に研究対象に取り入れられるようになりました。

私が取り組んでいるのは、「小説理論の発展史」です。本当は、理論という現象を単純に定式化する方法は、多彩であるべき文学作品にはふさわしくないと考えています。だからこそと言うべきでしょうか、なぜこの作品からそのような理論が導きだせるのか、とゲーテの小説を読んだ後にいろいろな先生たちが出してきた研究成果（これを「先行研究」と言います）を読んだ時、どうしても納得ができませんでした。なぜ小説理論は作品と乖離して成立しうるのかは検討に値するテーマだと思い、取り組むことにしました。これはドイツ文学研究の中でも人気のあるテーマとは言い難いです。それどころか、文学作品そのものの研究ではなくても許容される時代には入っていましたが、重要な定説を批判することになり無謀であると言われ、「風車に突進するドン・キホーテみたいだね」と笑われました。研究は人のやらないことをやらないと、意味がありません。ロシナンテもサンチョ・パンサもいませんでしたが、とにかく先の見えない旅に出てみることにしました。

テクストのつながりを追って

小説理論は、作品に対して副次的に位置付けられることもありますが、ヘーゲルの美学やディルタイの記述、ルカーチの理論書は文学という芸術作品と同等に価値のある思想的作品です。研究を進めると、彼らの意見が尊重され過ぎたということがわかってきました。作品を解釈しようとした研究者たちは、影響力のある理論と文学作品の間の乖離を埋めるために、いろいろな言葉を重ねて説明しました。すべてが言葉によって構成されている文学の世界では、すでにある古いテクストに依拠することが正当性の担保になりますので、とりあえず受け入れて、自分たちなりに合理化しようと苦心惨憺したのでした。しかし文学史の実態からさらに離れる結果となりました。

これらの小説理論の出発点を探してみると、どうやらヘーゲルの『美学講義』だということがわかってきました。この著作は今から約200年前にあたる1820年頃に成立したのですが、そこには1770年代のテクストから継続している用語や議論が認められました。そのテクストはさらに1750年前後のイギリスのテクストにつながり、さらに…とさかのぼることができました。つまり200年前の時点では、作品と理論はそんなにかけ離れていなかったのです。一方で、ヘーゲルのテクストを継承したディルタイは、ほとんど丸写しに近いぐらい同じ言葉を用いながら、ほんの少しの言い換えだけで、18世紀の文学状況を理想的に美化していたのです！　理論と作品の乖離は、ほんのわずかな亀裂から始まったことがわかりました。ディルタイが行ったことは、完全に書き写すだけでは無粋なので、自分らしい言葉に一部を置き換えただけだとも考えられます。しかしオリジナルと書き換えを比較すると、書き換えた人の隠された心理を読み解いていくことができます。過去の文化の理想化が支持を得た要因は、当時の市民層の教養信奉にも求めることができるでしょう。第一次世界大戦頃までのドイツ市民層は、自分たちは教養ある高貴な存在でなければならないと信じていました。彼らは実生活でも知的領域でも、高尚で洗練された存在であるよう努力していました。しかし小説理論のテクストから垣間見える彼らは、高貴でなければ、お勉強ができなければ、いい子でなければ存在価値がなくなるのではないかとの不安に苛まれ、小説は「市民的叙事詩」（叙事詩は高貴な英雄が登場する伝統的な形式なので、これを市民と結びつけることは、市民を英雄視することを言外に表します）であるとしたヘーゲルの主張を、自分たちに言い聞かせるように唱え続ける悲しげな姿をしていました。小説理論が、芸術作品には満たず、かつ思想的著述の厳格さもない「中途半端」な分野であったために、社会と文化へのわだかまりをぶつけることができたのかもしれません。作品と小説理論がかみ合っていないと思ったら、作品から離れて発展した過程があったことがわかってきたのでした。文学研究から始まって、思いがけないところで文化とつながる道を見つけられたのはよかったと思います。でも旅はまだまだ続きそうです。

ウィーンにあるオーストリア国立図書館、「旅」の中継地です

1部ゼミ対抗 ソフトボール大会

北海道にもようやく初夏の日差しが降りそそぐ6月上旬、今年も毎年恒例の経済学部ゼミナール協議会主催「ゼミナール対抗ソフトボール大会」が開催されました。6月4日～11日にかけて、月寒公園高台球場にて試合が行われ、基礎ゼミから19チーム、専門ゼミから20チームの計39チームが参加しました。今年の大会は、1年生の生き生きとした雰囲気と、2・3年生の今年こそは勝とうとする意気込みが感じられる試合がたくさんありました。トーナメントを勝ち抜いて決勝戦にコマを進めたのは、浅妻ゼミⅡと、昨年準優勝のリベンジに燃える古林ゼミⅡ。古林ゼミⅡが先制点を入れ試合を優位に進めていましたが、最終回に浅妻ゼミⅡが点をあげるも届かず、3−2の接戦を制した古林ゼミⅡが優勝しました。なお、3位決定戦に関しては時間の都合上行われませんでした。ソフトボール大会はゼミの親睦を深める機会にもなるので、今後も多くのゼミが参加することを期待します。［宇土］

▲決勝戦を前に浅妻ゼミⅡ、古林ゼミⅡと運営にあたる経ゼミ協の皆さん

［平成30年4月25日］

本学部OBに感謝状贈呈

このたび本学経済学部第4期（1957年3月卒業）の江川久洋様から経済学部に寄付をたまわり、4月25日安酸敏眞学長から感謝状を贈呈いたしました。

江川さんが卒業された当時の本学と現在の本学では隔世の感を抱かれたことと拝察いたします。感謝状贈呈式の後、江川さんから思い出話をうかがったのですが、そのなかに池田善長先生をはじめ、わが北海学園大学の基礎を築いた諸先生のお名前が出てまいりました。

約70年の伝統と歴史は数多くの卒業生のみなさんと、教職員の諸先輩たちによって築かれてきたものです。われわれ教職員はこの歴史と伝統を受け継ぎ、北海道の、わが国の、さらには世界の未来を担う新たな卒業生を生み出していく責務を負っていることを自覚しなければなりません。

また、現在本学で学ぶ学生諸君も、多くの先輩方に負けぬよう社会でがんばってくれるであろうことを確信しています。［古林］

前列左から、江川さん、安酸学長
後列右から古林経済学部長、高田同窓会事務局長、堀内大学事務部長

［平成30年6月～7月］教務センター主催市民公開講座

「世界の言語と文化のモザイクを眺める」

本学では、大学で開講されている「英語以外の外国語」（ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、韓国・朝鮮語）科目に関する知的財産を広く社会に公開することを目的に、5月12日より隔週土曜日に、教務センターの主催で、外国語担当教員が連続講演を行ないました。このうち、北原寛子准教授（ドイツ語）は「美しき哀しきドナウ―文学に刻まれた昨日の世界のウィーン―」と題し、ハプスブルク帝国の都ウィーンを軸に、19世紀半ばから今日までのドイツ語圏世界を眺めてみました。また、一條由紀准教授（フランス語）は「19世紀フランスの小説から考える女子教育」と題し、『ボヴァリー夫人』などの小説を通して、19世紀フランスの女子教育と恋愛観、女性観について考察しました。辻弘範教授（韓国・朝鮮語）は「朝鮮半島の“いま”を読み解く」と題し、冷静体制をしたたかに生き抜いてきた韓国と北朝鮮の外交スタイルについて、その歴史的背景を紐解きました。［辻］

6月23日の公開講座。講師は経済学部一條由紀准教授（撮影：西山由希子）

［OG訪問］

働きウーマン 21

◀ スキップ訪問マッサージの案内パンフレットを持って

大学で学んだ簿記や会計、チアリーディングの部活動、すべてが仕事にいきています。

大学時代はチアリーディング部副キャプテン（後列左から２番目が近江谷さん）

近江谷 亜以莉さん
おおみや あいり

通院が困難な高齢者や体の不自由な人が、自宅でリハビリを受けられるよう「スキップ訪問マッサージ」を起業した近江谷亜以莉さん。ご主人と二人三脚で、事業の拡大を目指している。

案内パンフレットと
ホームページアドレス
https://skip-houmon.com ▶

チアに夢中になった大学時代

社会で役立つ知識を身に付けたいと経済学部に入学した近江谷亜以莉さん。大学時代は簿記や会計を学ぶ一方、熱心に部活動に取り組んだ。

「友人に誘われて全学応援団チアリーディング部に入ったのですが、当時はほかの運動部の応援活動だけでした。でも、自分たちでも大会に出てみたいと、私たちの代から組み体操を取り入れたチアリーディングの競技に挑戦することにしたのです」

指導者がいないので他大学のチームに頼んで一緒に練習させてもらったり、チア連盟に質問したり、一から自分たちで考えて主体的に動き、大会出場を果たした。

「私は副キャプテンとして、部員とキャプテンの橋渡しをする役目。トップに立ってみんなを引っ張るより、冷静に判断してチームをまとめるナンバー２のポジションが向いているのかな、と気付いたのもこのころでした」

訪問マッサージ業で起業

充実した４年間を過ごしたものの、就職氷河期だったこともあって、希望通りの就職はかなわず、卒業後は札幌市の臨時職員としてキャリアをスタート。その後、札幌市青少年科学館の解説員として職を得た。

「人前で話すのは苦手だったのですが、あえて挑戦してみようと。おかげで大勢の前でも緊張せずに話せるようになりました」

解説員を３年続けた後、事務経験を身に付けたいと、一般社団法人札幌歯科医師会の職員に転職。現金の出納や予算決算書の作成、講演会の手配などを担当した。

転機が訪れたのは５年前。当時交際中で後に結婚する近江谷俊介さんと、訪問マッサージ業の開業を決めたのだ。きっかけは俊介さんが交通事故に遭い、マッサージのリハビリに通ったこと。「自分の足で通院できない高齢の方の自宅を訪問するマッサージのリハビリがあれば喜ばれる」と感じたのが始まりだった。

「最初はフランチャイズに加盟しようと大阪の本部まで二人で話を聞きにいったのですが、もしかしたら自分たちでもできるんじゃないか、と思って…。最初は夫が個人事業主で開業することにしたんです」

亜以莉さんはあんまやマッサージ、鍼灸の資格を持つ施術家の先生を探す一方、市営住宅などを一軒一軒まわってチラシを配り、営業活動をサポートした。

「大変でしたけど、最終的には利用者さんに喜んでもらえる。『ありがとう』と言われると、苦労もチャラになるんですよね」

潜在的なニーズがあったのか、利用者はどんどん増え、３年前には株式会社化。俊介さんが代表取締役、亜以莉さんが取締役に就任した。開業６年目の今は、85名の施術家に事務とドライバーも含めると100名のスタッフを抱える一大企業に成長している。

頼りになった学園のOBネットワーク

スキップ訪問マッサージは、医療保険で施術を受けられるのが特徴だ。利用者から委任を受け、医師の同意書を得る手続きを代行していること、施術の時間が他社よりも長くリハビリに向いていること、独居の高齢者の見守り要素もあることなどが評価され、クチコミで人気が広がったという。拠点はいま、札幌、江別、恵庭など道央圏のみならず、旭川、釧路、函館、小樽、苫小牧、登別、室蘭など全道14カ所をネットワーク。月の利用者数は650名にものぼる。

「起業時のターゲットの設定や市場の分析は、大学で学んだマーケティングが役に立ちました。当時は実践で使う場面があるとは思えませんでしたが、勉強しておいて本当によかったです」

また、北海学園大学OBの仲間意識も心強かったという。チア部の先輩に誘われてOB異業種ネットワークに参加すると、人脈はさらに広がった。

「どこの職場にも必ず学園の卒業生がいて、同窓だというだけで、目をかけてくれるんですよね。困っていれば手を差し伸べてくれますし、学園の先輩方に何度も救われました」

ムダな経験はひとつもない

思いがけなく起業して、夫婦で事業を大きく発展させてきた亜以莉さん。これまでを振り返って「ムダなことはひとつもなかった」と感じている。

「チアの大会に出ると決めて自分たちの力で実現させた成功体験があったから、新しい事業を始めるときも、できるんじゃないかと思えました。人前で話す解説員の仕事は営業活動に、歯科医師会での経験は会社の経理事務にいきています」

だからこそ、後輩たちには「大学生活を思い切り満喫してほしい」とアドバイスする。「部活でも勉強でもアルバイトでも、一生懸命にやったことはいつか絶対役に立つ。私のように就活がうまくいかなくても、与えられた場所でひとつひとつの仕事を真剣に取り組めば、その経験はどこかで絶対いきてくると思うんです」

いま亜以莉さんの夢は訪問マッサージのサービスを全道に広めることだ。「リハビリを受けたくても自宅から動けない高齢の方はまだまだ多いはず」と、さらなる事業の拡大を目指している。

profile

1983年　札幌市生まれ
2002年　旭川北高校卒業
2006年　本学経済学部卒業
2007年　札幌市青少年科学館に解説員として勤務
2010年　札幌歯科医師会に事務職員として勤務
2013年　スキップ訪問マッサージを開業
2015年　オオミヤホールディングス株式会社設立、取締役に就任

From a Distance 10

「ユメちゃん」

●松本 広幸［経済学部教授］

我が家は犬猫好きである。19歳の柴犬ユメを筆頭に猫2匹（階下に暮らす義母の愛猫も含めると3匹）が共同生活をしている。先住の三毛猫ヒナは14歳になり、最近やってきた黒猫ジジ（推定年齢1歳ちょっと）と世代間闘争かどうか、互いにネコパンチで牽制しながら暮らしている。よその家のことはわからないが、うちの犬猫の関係性は基本的に無関心というか、特にケンカもしないが仲良しでもない。要するにお互い空気みたいな存在だが、ヒナは床に寝そべっているときにユメに踏まれてたまに怒る。遠慮なく踏みつけるのでネコにしてみれば結構痛いようである。若いころのユメは無遠慮に自分より小さい動物を踏みつけるようなことはなかった。歳を取って狂暴になった訳ではない。ユメは認知症なのである。わりと最近知ったことであるが、柴犬は認知症になりやすいようである。犬が認知症になると、犬なりに周囲に注意を払うことができなくなる。居間で徘徊して隙間に頭を突っ込んで動けなくなる。高齢で足腰が弱っているのですぐ座り込む。家族に立たせろと鼻をクンクン鳴らす。結構な頻度でワオーと大声で叫ぶ。夜は娘と添い寝しているが、夜中に目を覚まして起き上がり鳴き叫ぶ。人間は慢性的睡眠不足である。もちろんオムツ犬でたまにウンチが漏れる。みなさんお気づきかと思うが、人間と一緒である。カラダは比較的元気なのに脳が退化してくるというのもまるで人間様である。一昔前ならこうなる前に天に召されていた思う。高齢化で認知症になるペットの数が増加していると最近よく聞くが、ユメちゃんを飼い始めたときには、このようなことになるとは夢にも思わなかった。我が家は介護中である。ユメを見ていると老いることは嫌なことに違いないが、悩みなく日々を平穏に過ごせるのは幸せかもしれない、と少し思う。でもやっぱり自分がそうなるのは避けたいとも考える。「明日は我が身」ということばが頭をよぎる。そういえば最近娘は私の言動が気に入らないとき、介護してやんないよ、と言う。端から期待していないものの、さてどうしたものか。

2018年 就職情報

平成30年3月31日現在

経済学部2018年3月卒業生の就職状況は、下の図表のとおりでした。卒業生の就職率は、１部が94.6％、２部が93.2％と、前年と比較して1部が微増、２部が増となりました。業種別では、2018年の卒業生も公務員試験の合格状況は堅調であり、全体でみると公務員就職者の割合は18.8％となっています。民間企業に目を向けると、人手不足感が強いと言われるサービス業や金融業への就職者の割合が、前年よりさらに高くなりました。また、道外企業に就職した卒業生は、2018年は27.7％と毎年その割合を高めてきています。これは、近年の「売り手市場」ともいわれる就職環境の改善により、積極的な採用を行う本州企業が増加しているためではないかと考えられます。実際、本学キャリア支援センターに寄せられる道外からの求人は、2017年度には3655件となっており、関東圏の企業を中心に増加傾向にあります。なお、今年も経団連加盟企業の採用選考は、6月から開始となっています。それに合わせ、本学キャリア支援センターでは、6月17日に本学学生を積極的に採用している63社の人事担当者が参加し、合同企業説明会を開催しました。キャリア支援センターでは、合同企業説明会や単独企業説明会など、さまざまな学生の就職活動を支援する取り組みを今後も開催する予定です。［宮本］

本社所在地別就職状況

業種別就職状況

学内合同企業説明会

公務員・教員登録状況

［平成29年度 卒業生・全学部］ 平成30年3月31日 現在（右表同）

名称	人数
国家公務員総合職	1
国家公務員一般職	95
国税専門官	20
労働基準監督官	2
財務専門官	3
裁判所職員一般職	4
皇宮護衛官	1
自衛隊幹部候補生	3
自衛隊一般曹候補生	2

名称		人数
北海道職員	一般	43
	教育行政	5
	技術	1
	警察行政	5
	学校事務	1
北海道	警察官	59
	女性警察官	16
警視庁警察官		6
その他の警察官		1

名称		人数
札幌市職員	行政	43
	技術系	12
	学校事務	3
	消防	5
その他市町村		72
国立大学等法人職員		92
その他公務員（上記分類以外）		3
公立学校教員（臨時含む）		79
総計		577

過去3ヵ年の主な内定先

企業名	人数
北海道職員	36
国家公務員一般職	29
札幌市役所	22
北海道警察	19
北海道銀行	13
北洋銀行	12
マックスバリュ北海道	11
日本郵便	9
札幌市消防	8
教員（臨時含む）	8

［経済学部のみ］　※公務員は合格者数

econ. No.38　2018. 夏・秋号　発行：北海学園大学経済学部　制作：株式会社 ラボット

〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40　TEL. 011-841-1161（代表）FAX. 011-824-7729
http://econ.hgu.jp/ 北海学園大学エコン 検索　E-mail：kyomu-za@econ.hokkai-s-u.ac.jp